

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 767 事業名 災害対策本部要員防災備蓄事業

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
取組		

事業種別		主な事務事業
事業期間	H21	～ H25
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市地域防災計画	
担当課・担当課長 (Tel)	職員厚生課	東山雅彦(435-1020)
関連課	総合防災課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		総務費
	項		総務費管理費
	目		一般管理費
	大事業		職員厚生事業
事項		災害対策本部要員	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
--------	----------	-----------	------

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	危機管理体制の整備の一環として、激甚災害時に災害対策従事職員が初動業務に専念できるように、非常食・毛布等を配備する。	平成21年度から5ヵ年計画で、和歌山市地域防災計画に基づく特別配備体制時の本部要員の緊急用食料(2食分×3,000人=6,000食)、長期保存水(1人2L×3,000本)、毛布(本部要員数の1/3の1,000枚)を備蓄する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		非常食用ご飯600人分(1人2食)長期保存水2L600人分真空パック毛布270枚を備蓄する。	非常食用ご飯600人分(1人2食)長期保存水2L600人分真空パック毛布200枚を備蓄する。	非常食用ご飯600人分(1人2食)長期保存水2L600人分真空パック毛布190枚を備蓄する。	非常食用ご飯600人分(1人2食)長期保存水2L660人分真空パック毛布160枚を備蓄する。	非常食用ご飯600人分(1人2食)長期保存水2L588人分真空パック毛布180枚を備蓄する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,059	1,007	1,059	884	939	892	898	736	850	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		-11.3%		-4.4%		-5.3%	
人件費	常勤職員	621	460	621	460	621	2,338	621	3,666	621
	非常勤職員									
	小計	621	460	621	460	621	2,338	621	3,666	621
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,059	1,007	1,059	884	939	892	898	736	850	
所要人数	常勤職員	0.08	0.06	0.08	0.3	0.08	0.3	0.08	0.49	0.08
	非常勤職員									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	非常食用ご飯の備蓄数量					年度目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
						実績値	1,200	1,200	1,200	1,200	
	単位	食	全体目標値	6,000	全体目標達成度	80.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	長期保存水の備蓄数量					年度目標値	600	600	600	660	588
				実績値	600	600	600	660			
単位	本	全体目標値	3,000	全体目標達成度	82.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	非常食用ご飯の備蓄人数					年度目標値	600	600	600	600	600
						実績値	600	600	600	600	
	単位	人	全体目標値	3000	全体目標達成度	80.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	長期保存水の備蓄人数					年度目標値	600	600	600	660	588
				実績値	600	600	600	660			
単位	人	全体目標値	3000	全体目標達成度	82.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	災害発生直後に職員が24時間体制で災害対策業務に従事するためには、継続した備蓄が必要である。
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	